

令和6年度 各種教育研究協議会

商業教育の状況

1	商業に関する学科の現状	・・・	P 1
2	進路状況	・・・	P 2
3	商業を取り巻く環境	・・・	P 3
4	国家試験等の合格状況	・・・	P 4
5	現行学習指導要領のポイント	・・・	P 7
6	教育課程の編成	・・・	P 8
7	令和6年度入学生に係る教育課程〔公立高等学校〕	・・・	P 10
8	特色ある教育活動	・・・	P 12
9	文部科学省「マイスター・ハイスクール」	・・・	P 19
10	初等中等教育における教育課程の規準等の在り方について (R6. 12. 25 中教審・諮問)	・・・	P 21

文部科学省初等中等教育局参事官(高等学校担当)付産業教育振興室 教科調査官
国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官
岩館 良伸

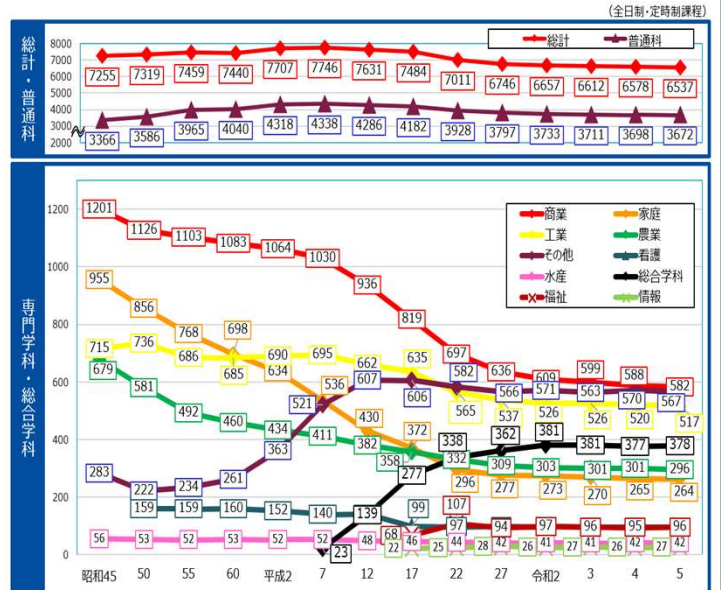
高等学校の生徒数及び学校数(学科別)

区 分		生徒数(人)	比率 (%)	当該学科を置 く学校数(延べ 数)	単独学科学 校数
合 計		2,909,703		6,537	3,448
普 通 科		2,150,535	73.9	3,672	2,557
職 業 学 科 (専 門 高 校)	小 計	497,739	17.1	1,920	563
	農 業	68,661	2.4	296	120
	工 業	203,449	7.0	517	254
	商 業	162,432	5.6	582	156
	水 産	7,113	0.2	42	20
	家 庭	34,113	1.2	264	5
	看 護	12,422	0.4	96	6
	情 報	2,802	0.1	27	1
	福 祉	6,747	0.2	96	1
その他専門学科		104,542	3.6	567	50
総 合 学 科		156,887	5.4	378	278

※ 全日制・定時制のみの統計である(通信制は含まれない)。
 ※ 「当該学科を置く学校数」欄は、複数学科を置く学校について、それぞれの学科に計上した延べ数である。
 ※ 全国の全日制・定時制の高等学校のうち、職業教育を主とする学科を設置する高等学校は1,459校である。
 ※ 「その他の専門学科」には、理数、体育、音楽、美術、外国語、国際関係等の学科がある。
 ※ 総合学科とは普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科である。

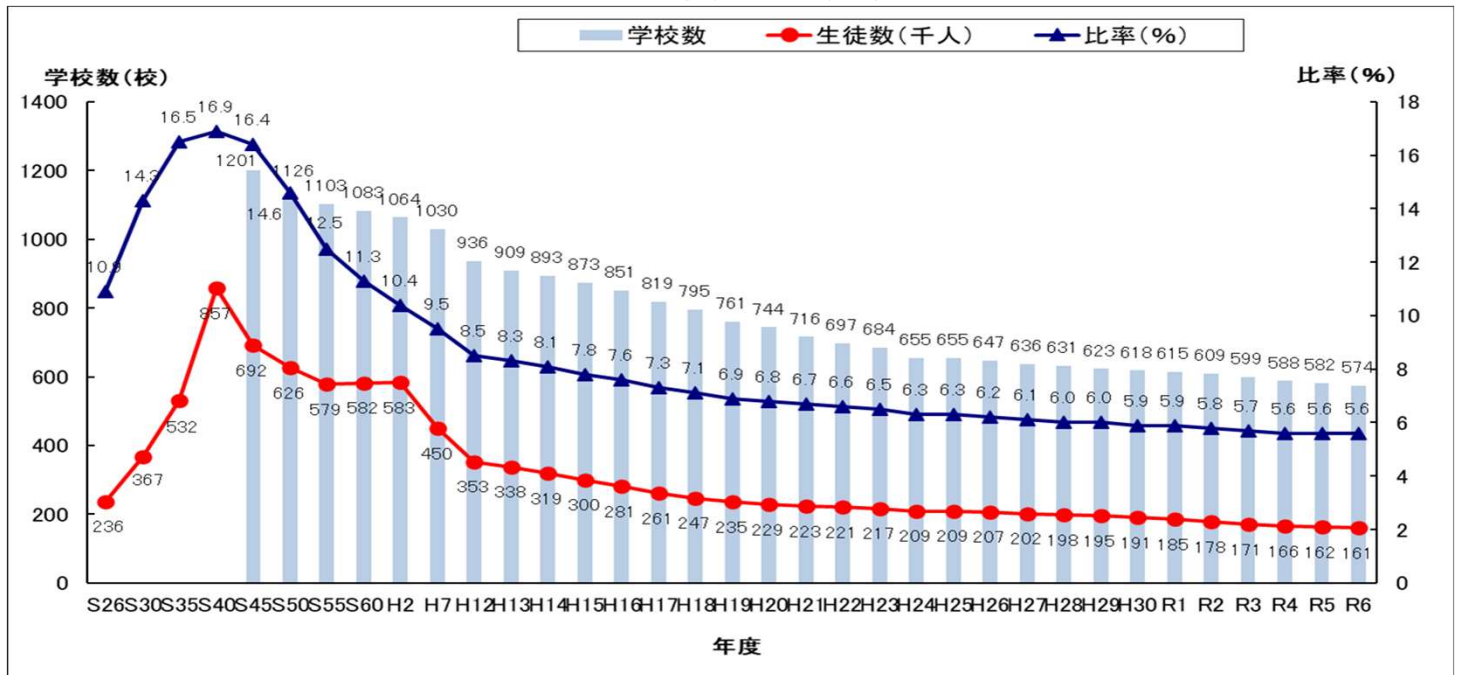
(出典) 令和5年度学校基本調査

高等学校の学科数(大学科別)〔推移〕



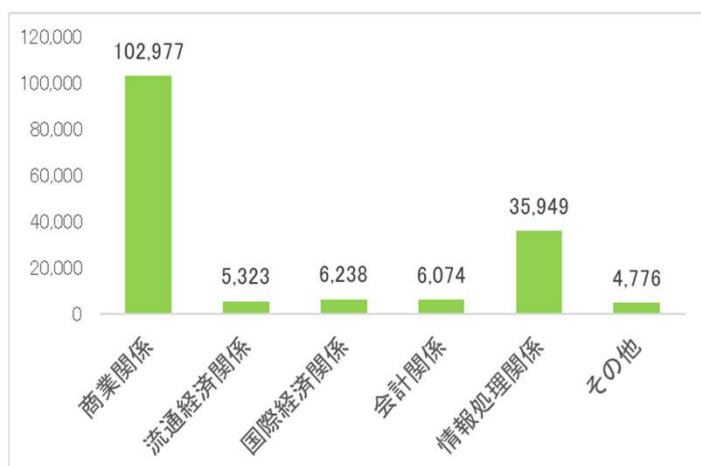
(出典) 令和5年度「学校基本統計」

商業科の生徒数及び学校数の推移



(出典) 令和6年度「学校基本統計」

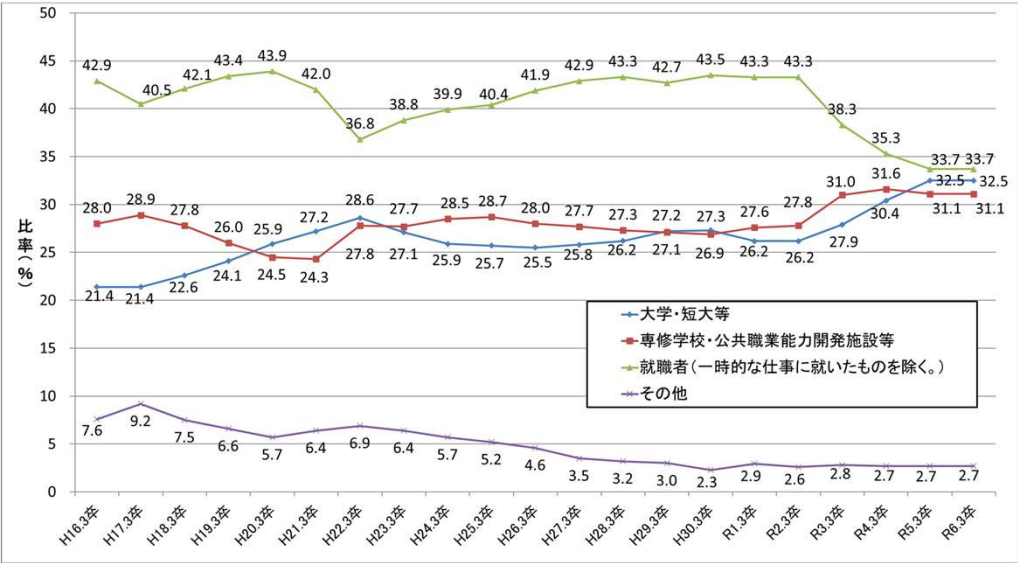
小学科別生徒数の状況(令和6年5月1日現在)



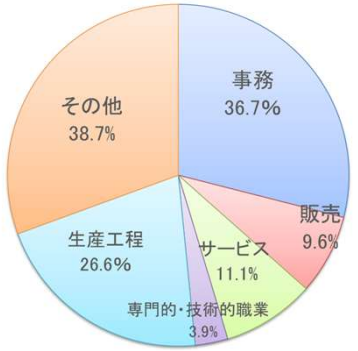
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R6 - R1
商業関係	114,150	110,109	106,609	105,170	103,035	102,977	-9.8%
流通経済関係	7,184	6,956	6,601	5,911	5,589	5,323	-25.9%
国際経済関係	7,020	6,626	6,361	6,102	6,425	6,238	-11.1%
会計関係	8,790	8,356	7,825	7,347	6,368	6,074	-30.9%
情報処理関係	43,718	42,083	39,650	37,139	36,545	35,949	-17.8%
その他	4,199	4,029	4,042	3,979	4,470	4,776	13.7%
計	185,061	178,159	171,088	165,648	162,432	161,337	-12.8%

(出典) 令和6年度「学校基本調査」

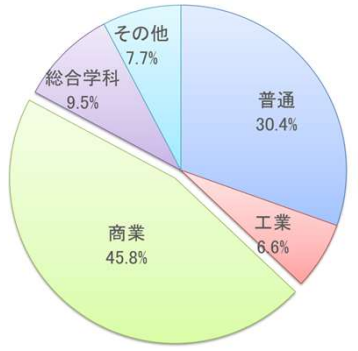
商業に関する学科卒業生の進路状況の推移(学校基本調査)



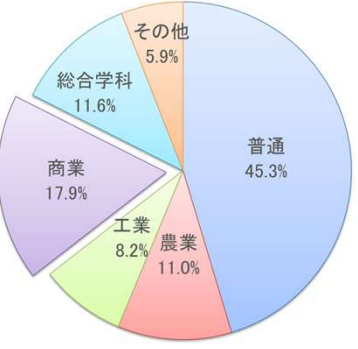
商業に関する学科卒業生の職業別就職状況 (R6年3月卒) (学校基本調査)



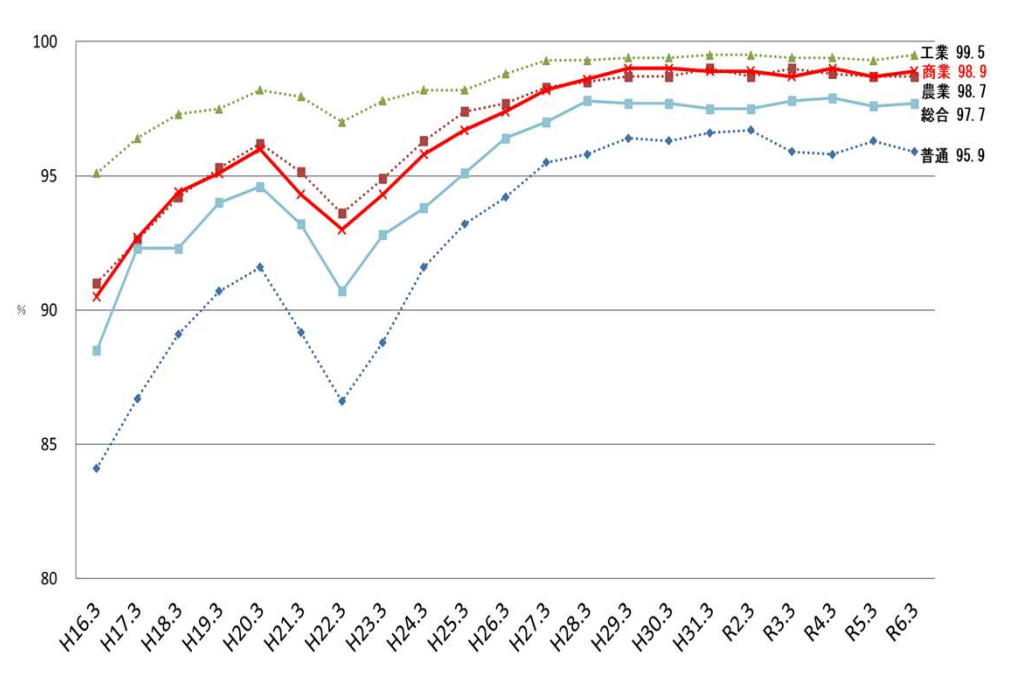
事務従事者の学科別割合 (R6年3月卒) (学校基本調査)



販売従事者の学科別割合 (R6年3月卒) (学校基本調査)



就職決定率の推移 (文部科学省「高等学校卒業(予定)者の就職(内定)状況調査」)



公立高校の商業に関する学科卒業生の進学状況 (令和6年3月卒業生)

(高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会聴取資料)

	4 年制大学						進学者 総 数
	国立・公立		私 立		合 計		
	商業関係		商業関係		商業関係		
進学者数	999	709	11,046	6,484	12,045	7,193	26,828
進学者総数に対する割合(%)	3.7	—	41.2	—	44.9	—	100
内数の割合(%)	—	71.0	—	58.7	—	59.7	

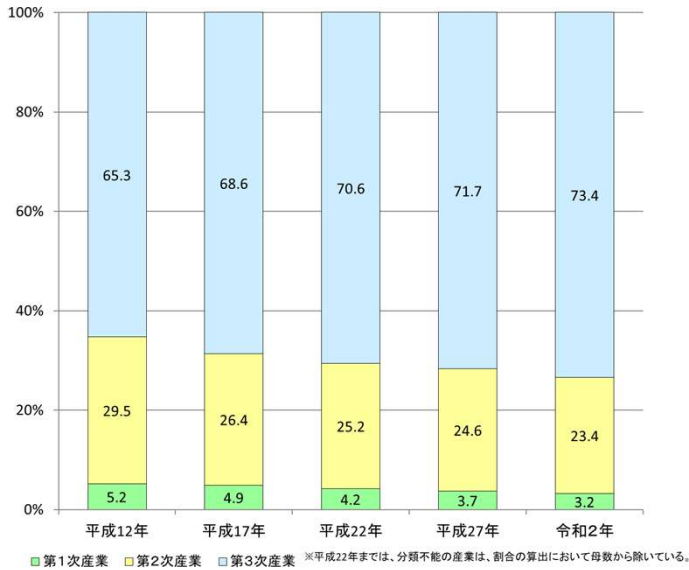
※商業関係の学部(例): 商学部、経済学部、経営学部など

公立高校の商業に関する学科卒業生の入試形態別進学状況 (令和6年3月卒業生)

(高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会聴取資料)

	4 年制大学									進学者 総 数
	国立・公立			私 立			合 計			
		一般	推薦		一般	推薦		一般	推薦	
進学者数	999	70	929	11,046	997	10,049	12,045	1067	10,978	26,828
進学者総数に対する割合(%)	3.7	—	—	41.2	—	—	44.9	—	—	100
内数の割合(%)	—	7.0	93.0	—	9.0	91.0	—	8.9	91.1	

産業別就業者数の割合の推移 総務省「国勢調査」



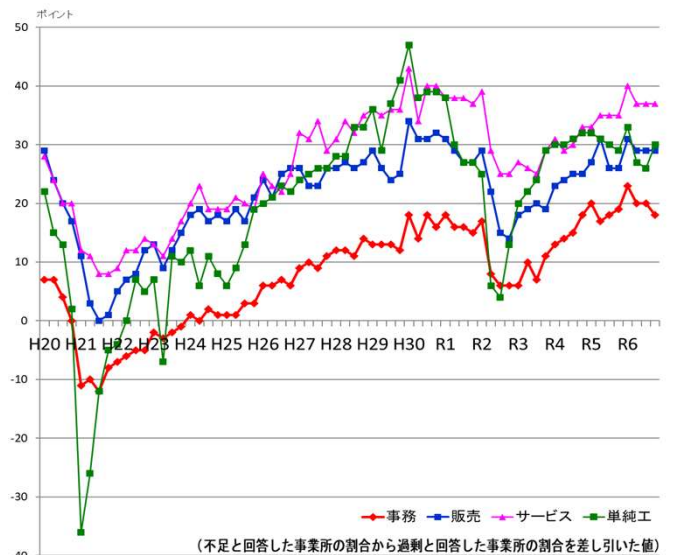
職業別就業者数の割合の推移 総務省「国勢調査」



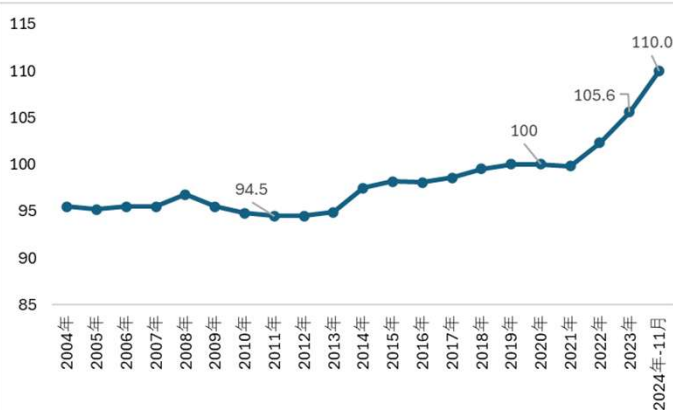
新規高等学校卒業就職者の
在職期間別離職状況(高等学校)〔厚生労働省〕



職種別労働者の過不足状況判断〔厚生労働省〕



消費者物価指数(CPI)の推移



消費者物価指数(総合)2020年基準
総務省「消費者物価指数」からグラフ加工

賃金指数の推移

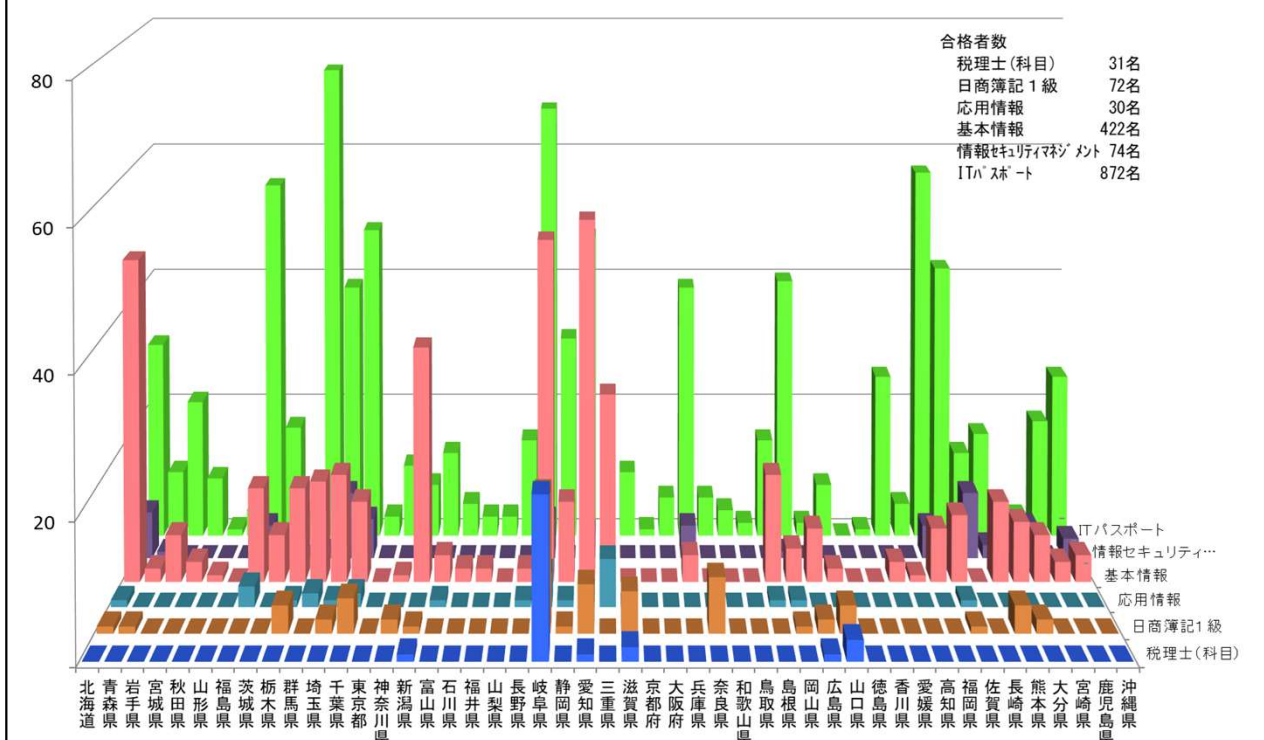


賃金指数(総合)2020年基準
厚生労働省「毎月勤労統計調査」からグラフ加工
名目賃金指数を消費者物価指数で除したもの

○ 国家試験等への合格状況 (高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会聴取事項)

年度	経済産業省						国税庁	日本商工会議所				日本英語検定協会		日本FP協会		観光庁	
	情報処理技術者						税理士	簿記検定		販売士検定		実用英語検定		FP技能検定		旅行業務取扱管理者	
	データベース	ネットワーク	応用情報	基本情報	情報セキュリティマネジメント	ITパス	科目合格	1級	2級	2級	3級	準1級	2級	2級	3級	総合	国内
R1	5	1	51	367	86	1,350	28	103	4,331	322	873	17	906	4	163	1	6
R2	2	0	6	133	57	1,503	27	57	1,906	229	779	26	767	3	150	1	7
R3	2	0	13	389	90	1,171	30	53	4,613	226	523	30	874	4	131	0	9
R4	0	0	18	301	53	985	26	44	3,826	347	314	18	871	7	153	2	1
R5	1	0	30	422	74	872	31	72	3,560	268	190	25	1,113	2	112	0	5

国家試験等の合格状況(令和5年度合格者数)



○ 進学後の公認会計士試験合格状況(令和5年度試験判明分)

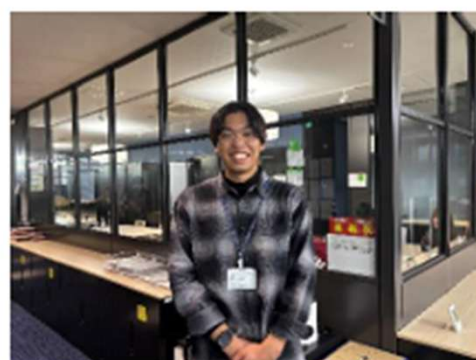
学校名	合格年齢	合格時の状況	学校名	合格年齢	合格時の状況	学校名	合格年齢	合格時の状況
宮城県塩釜	25	専門学校	甲府市立甲府商業	21	大学3年	愛知県立愛知商業	21	専門学校
秋田市立秋田商業	24	大学院2年	甲府市立甲府商業	22	大学4年	愛知県立愛知商業	20	専門学校2年
秋田市立秋田商業	21	専門学校2年	岐阜県立岐阜商業	22	大学4年	愛知県立豊橋商業	22	大学4年
山形市立商業	21	大学4年	岐阜県立岐阜商業	19	大学2年	名古屋市立若宮商業	21	専門学校3年
福島県立白河実業		大学2年	岐阜県立岐阜商業	22	大学4年	大阪府立大阪ビジネスフロンティア	24	
栃木県立栃木商業	21	専門学校	岐阜県立岐阜商業	22	大学4年	大阪府立大阪ビジネスフロンティア	23	
埼玉県立上尾	20	専門学校2年	岐阜県立岐阜商業	20	大学3年	伊丹市立伊丹		専門学校(卒業後)
埼玉県立上尾	21	専門学校3年	岐阜県立岐阜商業	21	大学3年	明石市立明石商業	23	専門学校(卒業後)
埼玉県立上尾	21	大学3年	岐阜県立大垣商業	22	大学3年	奈良県立商業	22	研究生4年
埼玉県立熊谷商業			岐阜県立大垣商業	21	大学4年	奈良県立五條	20	大学2年
埼玉県立熊谷商業			岐阜市立岐阜商業			下関市立下関商業	21	大学4年
神奈川県立平塚農商	22	専門学校(卒業後)	富士市立	23	大学(卒業後)	久留米市立久留米商業	21	大学3年
富山県立富山商業	20	大学2年	富士市立	22	大学(卒業後)	長崎県立佐世保商業	22	大学4年
富山県立新湊	20	大学2年	愛知県立愛知商業	24	専門学校			
石川県立金沢商業	21		愛知県立愛知商業	22	専門学校			

※令和5年度公認会計士試験の概要

合格者数1,544人(合格率7.6%、平均年齢24.5歳、最低年齢18歳)

合格者の職業 学生、専修学校生等 63.5% 会社員 17.6%

北海道下川商業高等学校を卒業し、群馬県の高崎商科大学に通う山岡祥大さん（2年生）は、公認会計士試験（短答式および論文式）に合格しました。高校時代、バスケットボールができる環境を求めて下川商業高校に入学しましたが、商業の授業で簿記に興味を持ち、日商簿記に挑戦しました。その後、高崎商科大学のHaul-Aプロジェクトの教材などを活用し、高校在学中に全経簿記上級、日商簿記1級、税理士試験（簿記論、財務諸表論）に次々と合格。将来の夢である公認会計士を目指して学びを深めるため、高崎商科大学へ進学し、公認会計士試験の短答式および論文式にも見事に合格しました。



高崎商科大学2年生 山岡 祥大さん

公認会計士になるまで

公認会計士試験（短答式試験および論文式試験）に合格し、3年以上の業務補助経験を積み、一般財団法人会計教育研修機構が実施する実務補習を修了し、日本公認会計士協会の修了審査に合格すると、内閣総理大臣の確認を受けて公認会計士の資格が与えられます。

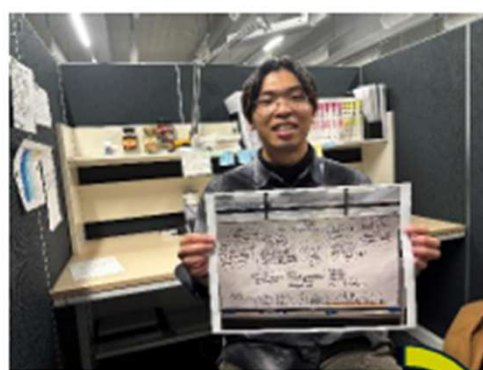


（出典）公認会計士協会 HP <https://jicpa.or.jp/cpainfo/applicant/examination/>

簿記との出会いと学びの姿勢

高校時代に簿記に出会い、その重要性に気付いた山岡さんは、「お金の流れを学ぶことは人生において欠かせない学びだ」と考え、熱心に学び続けました。商業高校に通う生徒は在学中に日商簿記2級を取得することで、将来の仕事の選択肢が広がることを実感しました。

簿記の勉強を続ける中で、「資産」や「負債」といった基本的な概念に苦労する友人たちを支援するうちに、教える楽しさを感じるようになりました。「仕訳の考え方やお金の流れを理解すれば、世の中の見え方が変わる」と実感し、簿記の学びを多くの人に広めたいという思いが強まりました。現在も後輩や同級生のサポートに積極的に取り組んでいます。



論文式試験に向けて、大学から割り当てられた学習スペース

努力と工夫の学び方

高校時代、山岡さんは通学中のバス移動時間を有効活用し、スマホで Web 講義を受講したり問題を解いたりして日商簿記 1 級の取得を目指しました。「簿記が趣味になった」と語るほど熱心に取り組み、部活動の合間や深夜まで勉強を続け、試験直前には一日中学習に集中する日々を送りました。

大学生になった現在も、テキストを持ちながらウォーキングで体力づくりをするなど、時間を最大限に活用しながら試験勉強に取り組んでいます。もちろん、安全面には十分配慮しています。

山岡さんは、自分が何のために会計士を目指すのかを整理するため、心の中をマインドマップにまとめました。その中で、特に北海道への恩返しの思いが強く、自分の会計スキルを活かして多くの人や企業を支援したいという使命感を抱いています。また、これまで支えてくれた方々への感謝の気持ちも記されています。さらに、会計の仕事を通じて社会に貢献するためには、専門知識だけでなく、人間力の向上が重要だと考えており、常に自己成長を心がけています。

将来の夢と目標

大学卒業後、山岡さんは監査法人で働き、会計の分野で幅広い経験を積むことを目標としています。さらに、海外での業務にも挑戦し、国際的な視野を広げることを目指しています。将来的には、北海道に戻り、商業高校の生徒たちに簿記や会計の楽しさを伝える活動を行いたいと考えています。自身の経験を生かし、次世代の若者たちの成長を支えることで、地域社会に貢献する夢を描いています。



Battle Wall は模試の点数を書き、互いにライバル心をかき立てる

会計教育への想い

山岡さんは自分を成長させた「Haul-A プロジェクト」の取組を多くの生徒に知ってもらいたいと考えています。試験への挑戦は、一人で行うものではなく、多くの仲間と行う団体戦だと考えています。山岡さん自身も大学のスタッフに教材や環境を提供してもらったことや、仲間同士で模試の点数を競い合うなどして、勉強へのモチベーションを高めたようです。時には、心身のバランスを崩すこともありましたが、大学の先生がメンターとなり、寄り添ってくれることで、簿記から離れない生活を送れるよう、心をコントロールしていたとのこと。

簿記を学び続け、仲間とともに成長してきた山岡さんの姿勢から、会計の力で、社会貢献をしたいという強い意志を感じました。



公認会計士試験合格者の賞状や合格祈願のダルマ

- グローバル化の進展、情報技術の進歩への対応
- 観光産業の振興、地域におけるビジネスの推進への対応
- ビジネスにおけるコミュニケーション能力とマネジメント能力の向上への対応

1. 改訂の基本的な考え方

- 経済のグローバル化、情報技術の進歩、観光立国の流れなどを踏まえ、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成するよう学習内容等を改善・充実。

2. 学習内容の改善・充実

(1) グローバル化の進展への対応

- 現行の「ビジネス経済」及び「ビジネス経済応用」の経済に関する指導項目について「グローバル経済」に整理統合し、グローバル化の動向・課題、企業活動のグローバル化に関する指導項目を取り入れるなど学習内容を改善。

(2) 情報技術の進歩への対応

- 「簿記」について、コンピュータを活用した会計処理が普及している状況を踏まえ、会計ソフトウェアの活用に関する指導項目を現行の「ビジネス実務」から移行するなど学習内容を改善。
- 現行の「電子商取引」を「ネットワーク活用」に再構成し、インターネットを活用したビジネスの創造に関する指導項目を取り入れるなど学習内容を改善。
- 現行の「ビジネス情報管理」の情報通信ネットワークに関する指導項目について「ネットワーク管理」に分離し、情報セキュリティ管理に関する指導項目の充実を図るなど学習内容を改善。

(3) 観光産業の振興への対応

- 地域の活性化を担うよう、観光ビジネスの展開に必要な資質・能力を育成する視点から「観光ビジネス」を新設し、観光資源と観光政策、観光ビジネスとマーケティングなどの指導項目で構成。

(4) 地域におけるビジネスの推進への対応

- 「ビジネス基礎」について、地域のビジネスを担う資質・能力を育成する視点から国内の身近な地域のビジネスに関する指導項目を取り入れるなど学習内容を改善。

(5) ビジネスにおけるコミュニケーション能力の向上への対応

- 現行の「ビジネス実務」を「ビジネス・コミュニケーション」に再構成し、ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーションに関する指導項目を取り入れるなど学習内容を改善。

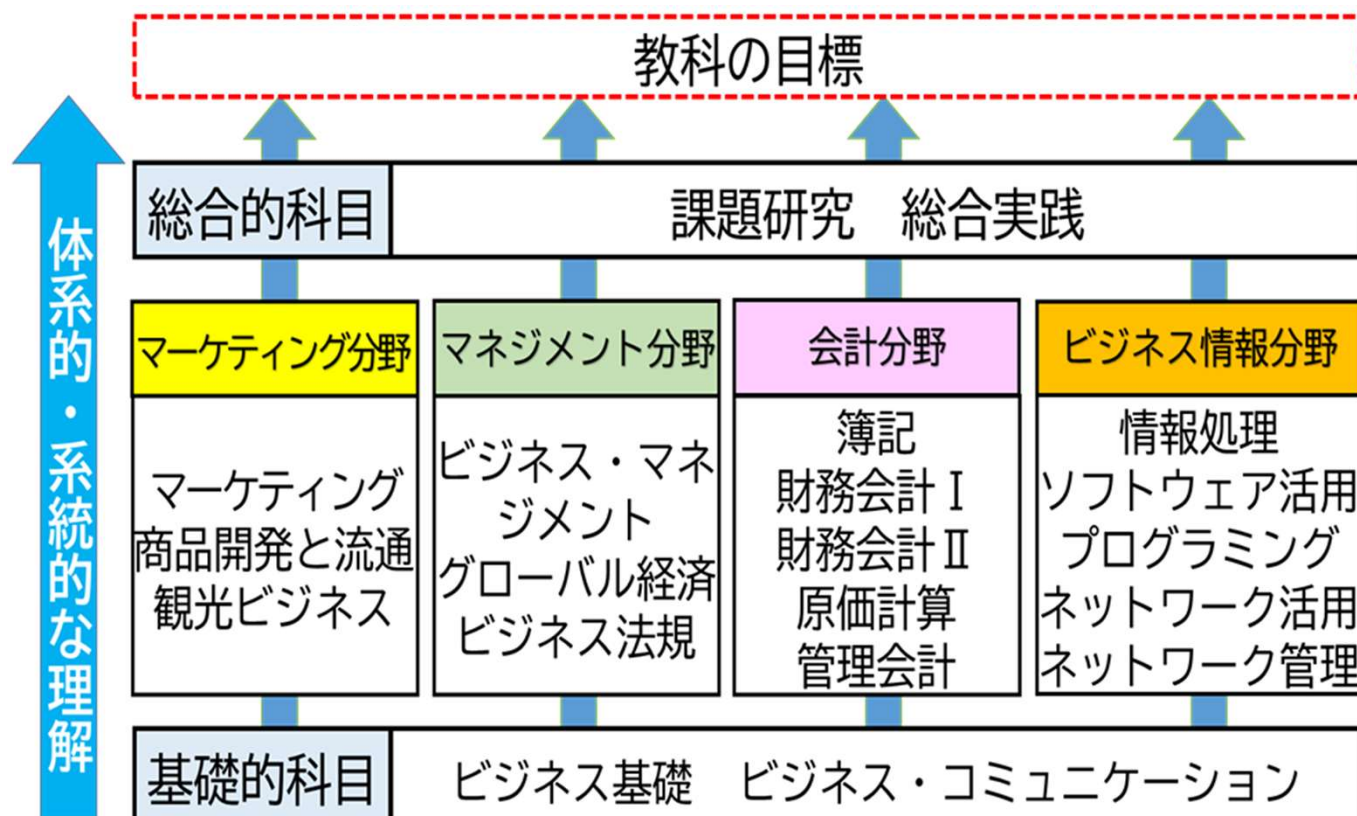
(6) ビジネスにおけるマネジメント能力の向上への対応

- 現行の「ビジネス経済応用」の企業経営、ビジネスの創造などに関する指導項目を「ビジネス・マネジメント」に分離し、人的資源、物的資源など経営資源のマネジメントに関する指導項目を取り入れるなど学習内容を改善。

3. 学習指導の改善・充実

- ビジネスの動向・課題を捉える学習活動及びビジネスに関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や討論を行う学習活動を充実。
- ビジネスに関する理論を実験などにより確認する学習活動及びビジネスに関する具体的な課題を設定し、科学的な根拠に基づいてビジネスに関する計画を立案して提案などを行う学習活動を充実。

○ 科目配置



○ 令和6年度入学生に係る教育課程(公立・商業・全日)

「設定状況なし」が50%以上の科目

都道府 県名	区分	ビジネ ス基礎	課題研 究	総合実 践	ビジネ ス・コ	マーケ ティン	商品開 発と流	観光ビ ジネス	ビジネ ス・マ	グロー バル経	ビジネ ス法規
全国	必修	100.0	99.4	74.3	28.4	39.3	9.4	13.6	13.9	7.1	19.4
	選択	0.0	0.2	8.3	22.1	41.2	38.9	36.4	34.8	32.4	45.0
	設定な し	0.0	0.5	17.4	49.5	19.4	51.7	50.0	51.3	60.5	35.6

都道府 県名	区分	簿記	財務会 計Ⅰ	財務会 計Ⅱ	原価計 算	管理会 計	情報処 理	ソフト ウェア活	プログラ ミング	ネット ワーク活	ネット ワーク管
全国	必修	98.3	60.7	9.4	47.2	2.8	99.5	63.5	28.4	21.0	8.2
	選択	1.3	29.0	39.8	40.0	19.1	0.0	28.4	27.1	42.0	21.2
	設定な し	0.5	10.3	50.8	12.9	78.1	0.5	8.2	44.5	37.0	70.7

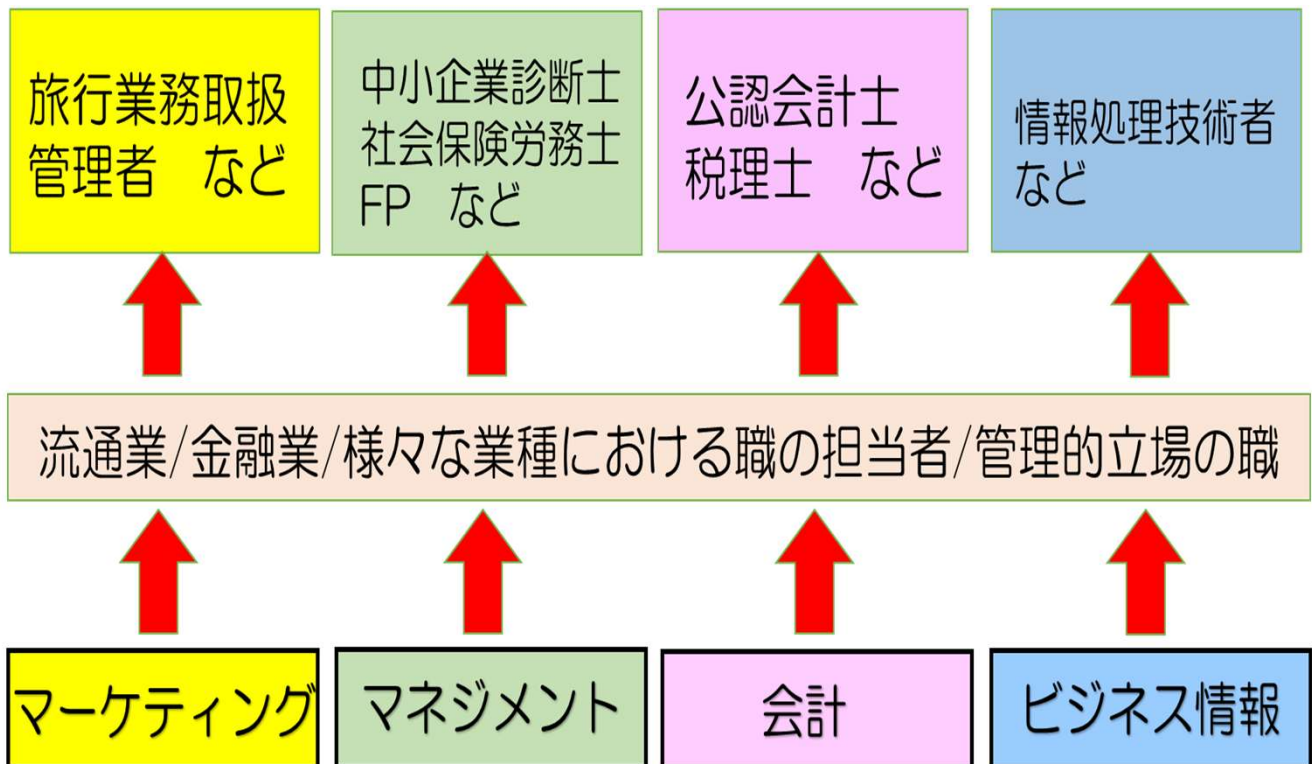
【学ばないことで生じるリスク】

- ・「商品開発と流通」→市場ニーズを把握できる資質・能力を育成していないが、「商品開発」のアイテム数は多い
- ・「グローバル経済」→ビジネスパーソンとして国際経済を学ばない、為替リスク、サプライチェーンへの非対応
- ・「財務会計Ⅱ」「管理会計」→財務報告のミス、財務健全への影響、非効率な意思決定などの負の影響
- ・「ネットワーク管理」→セキュリティへの非対応、パフォーマンス低下、生産性の低下などの負の影響

商業分野の「職業」について体系的・系統的理解ができているか？

(出典) 高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会聴取資料

○ 教科「商業」の目指す職業人



○ 職業人の育成のための環境整備

科目「簿記」(5) 記帳の効率化

...

イ 会計ソフトウェアの活用

… (中略) … **会計ソフトウェア**を活用して効率的に取引の記録と財務諸表の作成を行う方法について扱い、基礎的な活用方法に関する実習を取り入れる。

科目「ソフトウェア活用」(4) 業務処理用ソフトウェアの活用

ア 仕入・販売管理ソフトウェアの活用

… (中略) … **仕入・販売管理ソフトウェア**を活用して効率的に業務を行う方法について扱い、基礎的な活用方法に関する実習を取り入れる。

イ 給与計算ソフトウェアの活用

… (中略) … **給与計算ソフトウェア**を活用して効率的に業務を行う方法について扱い、基礎的な活用方法に関する実習を取り入れる。

...

科目「プログラミング」(4) プログラムと情報システムの開発

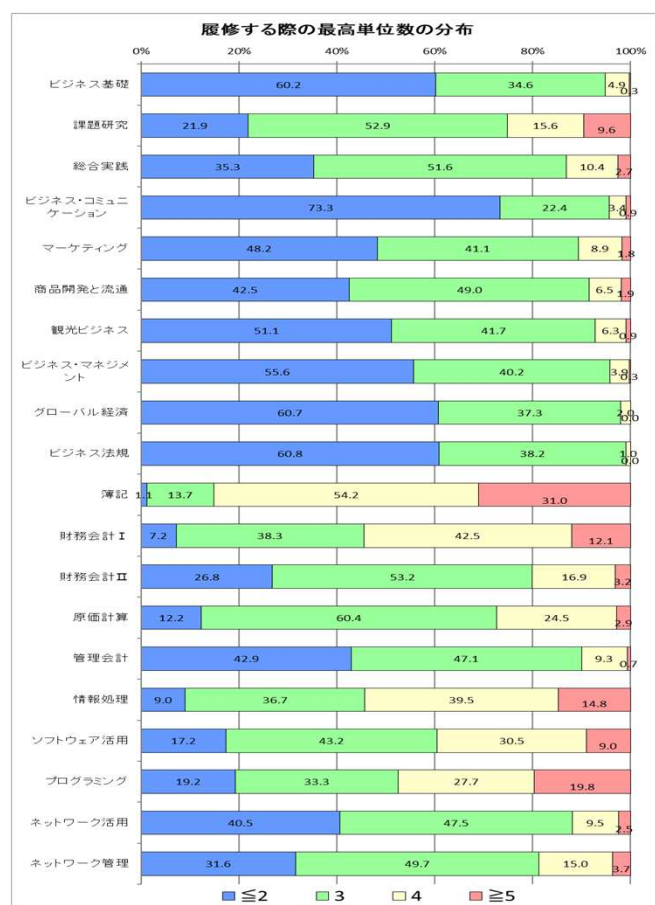
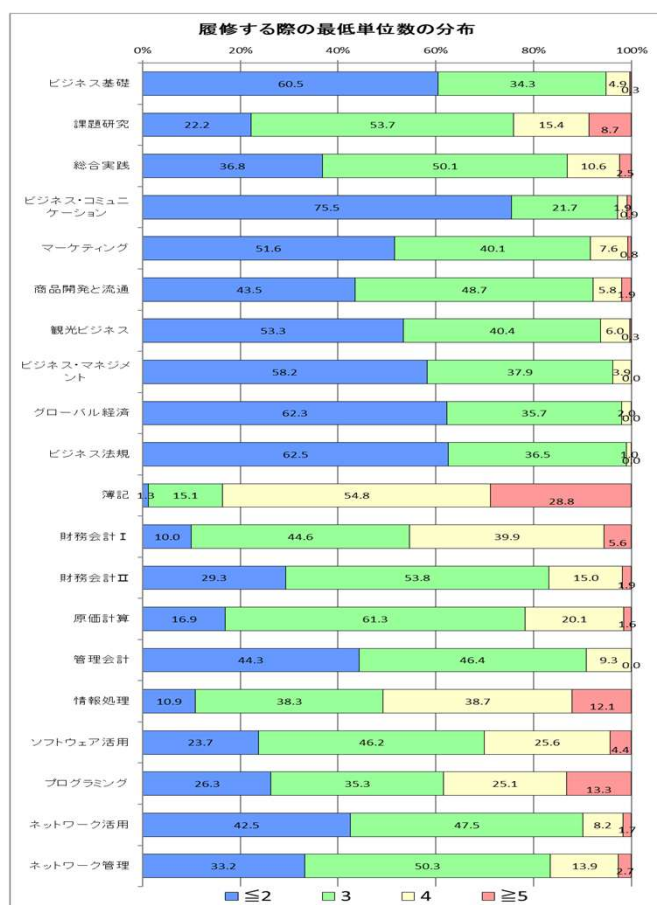
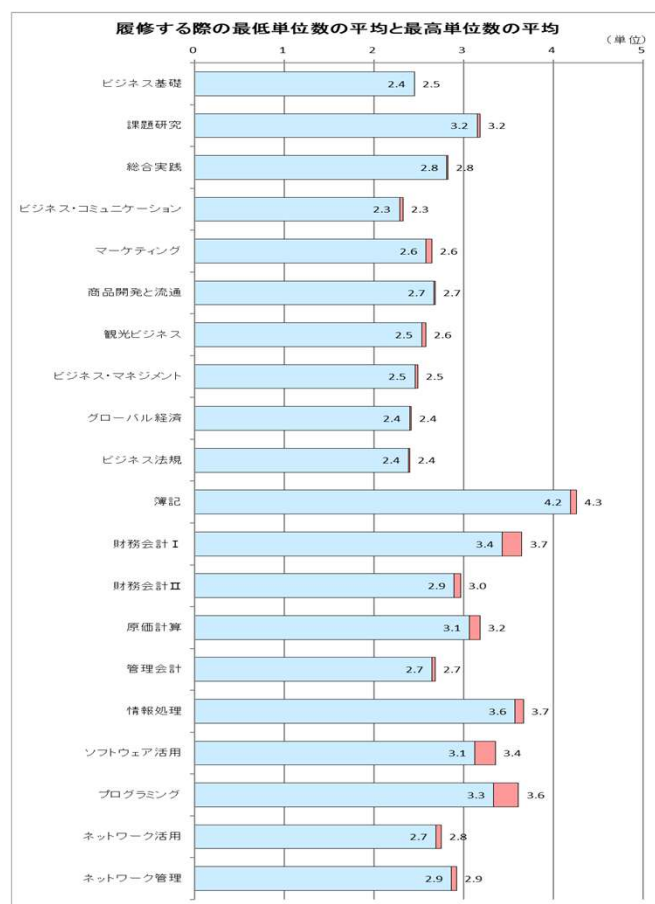
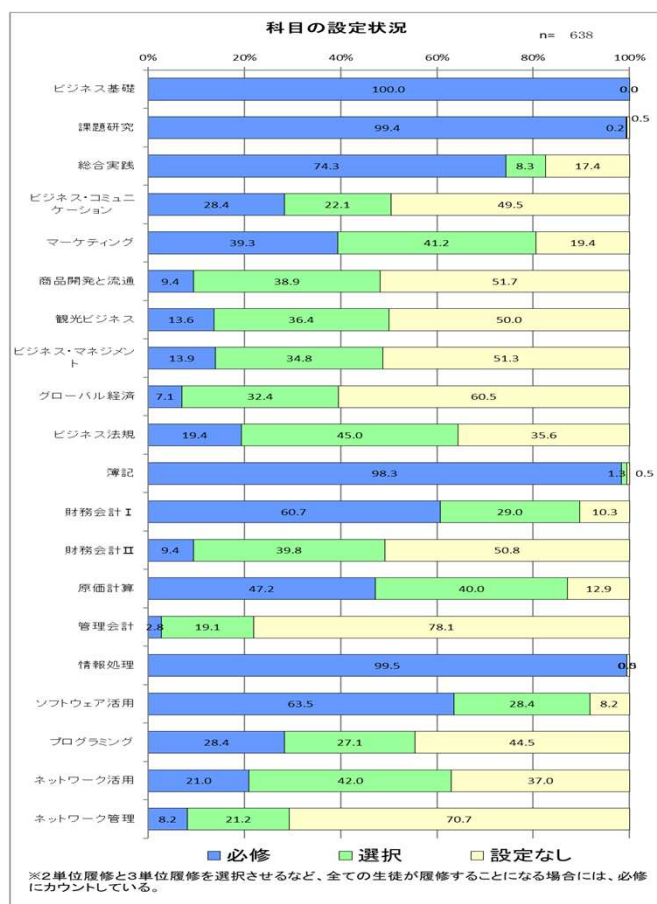
...

オ 携帯型情報通信機器用ソフトウェアの開発環境の利用

… (中略) …, 携帯型情報通信機器及びそのソフトウェアの開発環境の特徴を踏まえて扱い、ビジネスに関する課題を設定して**企業活動に有用なプログラムと情報システムを開発する実習**を取り入れる。

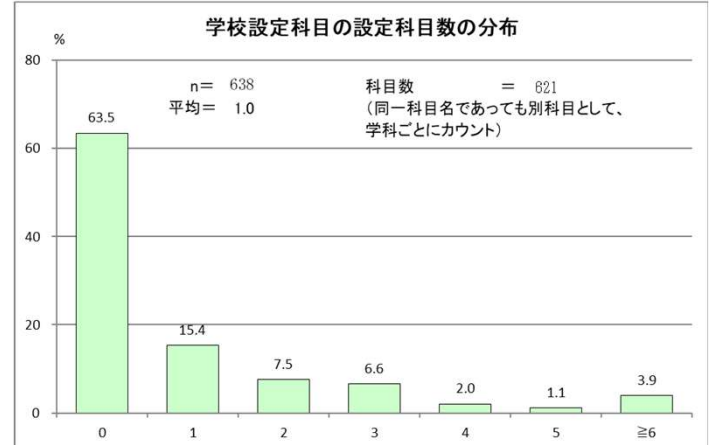
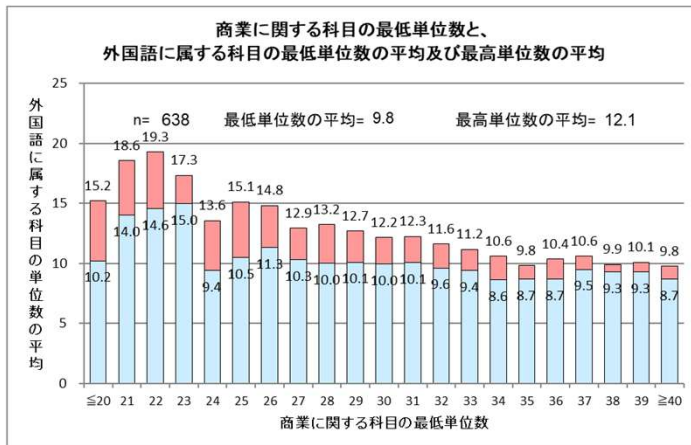
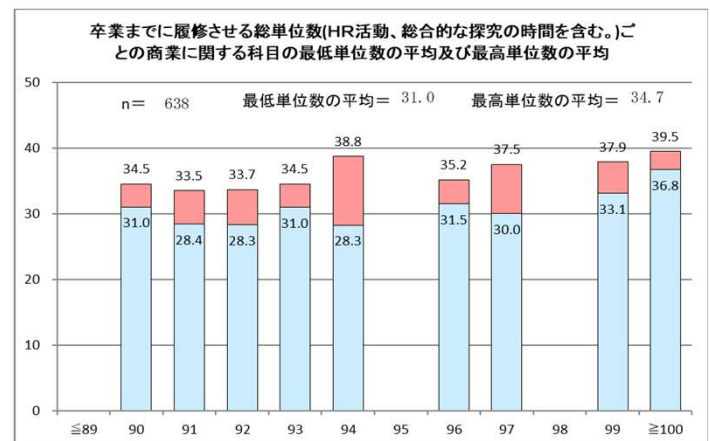
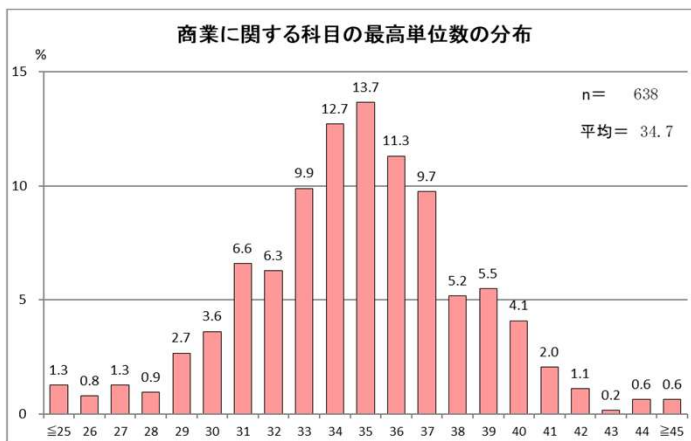
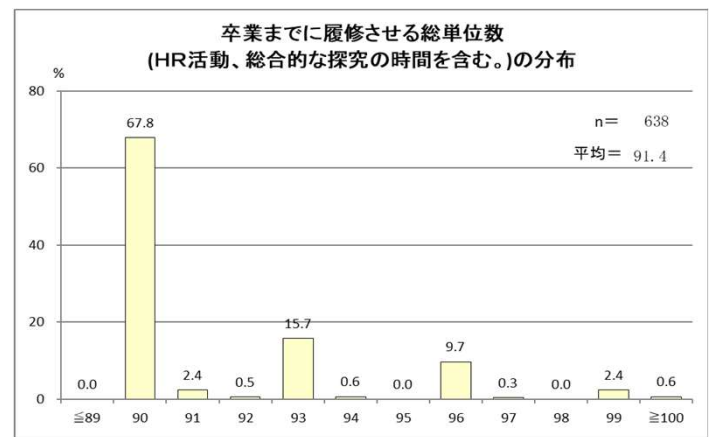
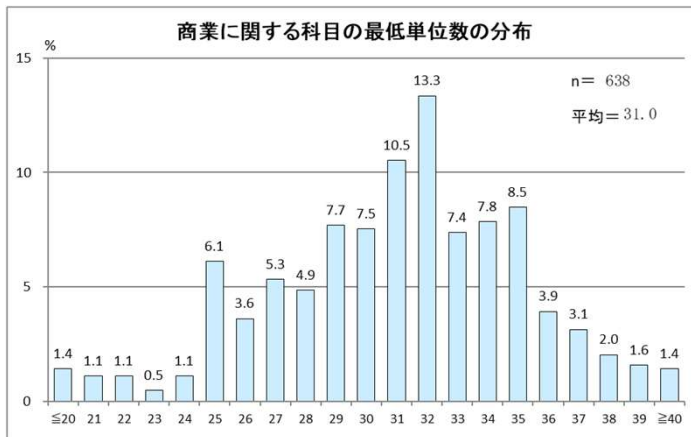
(出典) 高等学校学習指導要領 (平成30年告示) 解説 商業編

○ 商業に関する学科全体〔全日制課程〕



(出典) 高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会聴取事項

○ 科目の設定状況



＜学校設定科目の設定状況＞

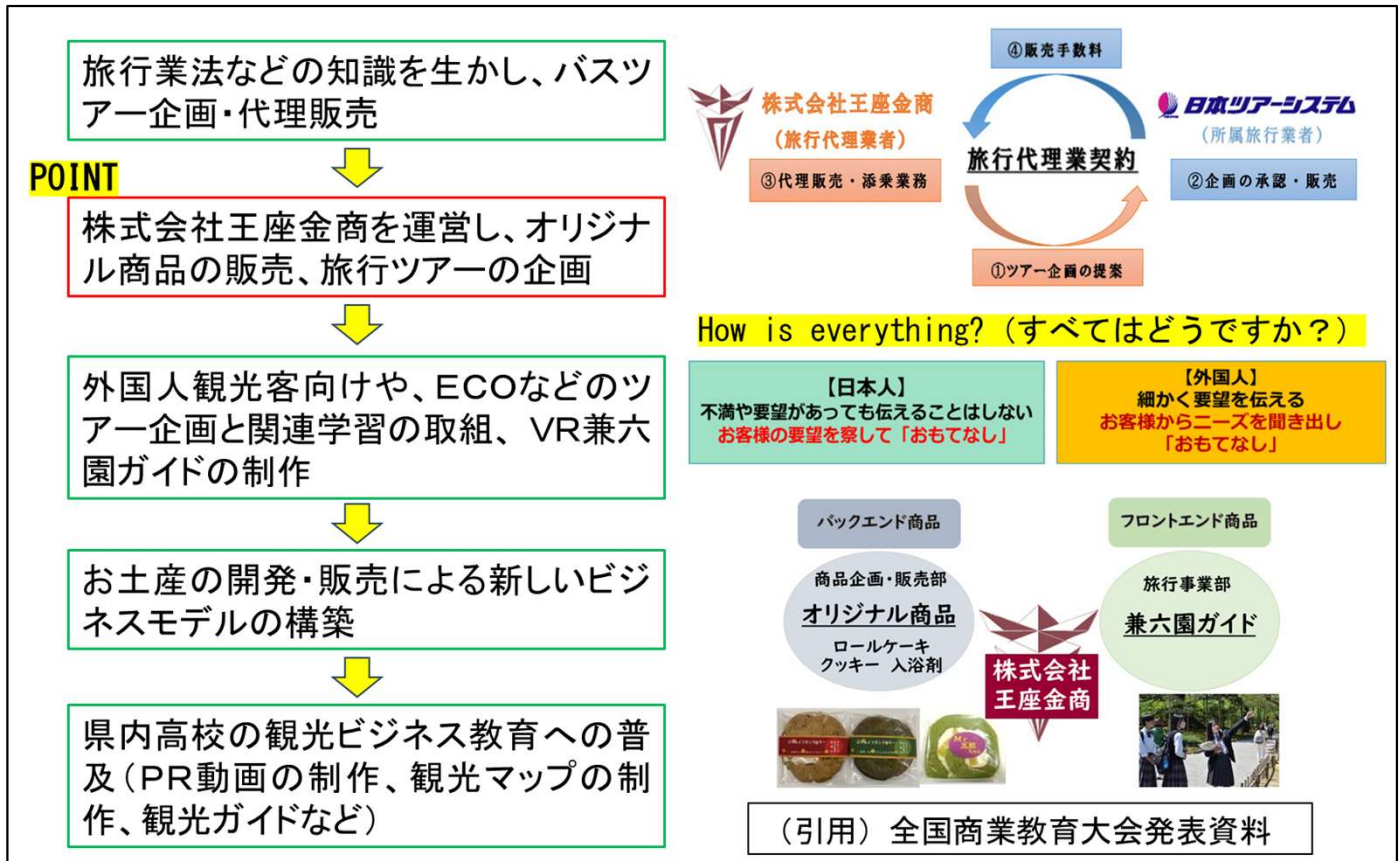
621科目（同一科目名であっても別科目として、学科ごとにカウント）

学校設定科目の設置が3学科以上の科目名を抽出している。

科目名	学科数	科目名	学科数	科目名	学科数
簿記演習	12	プレゼンテーション	5	地域観光	4
コンピュータ会計	9	地域ビジネス	5	インターンシップ	3
ビジネス計算	9	グラフィックデザイン	4	オフィス演習	3
ビジネス探究	8	ビジネス技術応用	4	グローバルビジネス	3
ビジネスアイデア	7	ビジネス実習	4	ソフトウェア応用	3
ビジネススキル	7	プログラミング探究	4	デュアルシステム	3
キャリアデザイン	6	会計実務	4	ビジネスマナー	3
プログラミング演習	6	起業実践	4	ビジネス英語	3
ビジネス中国語	5	経済事業	4	ビジネス応用	3
ビジネス文書	5	行動経済学	4	マルチメディア活用	3

(出典) 高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会聴取事項

○ 石川県立金沢商業高等学校 マーケティング分野の研究一



○ 神奈川県立厚木王子高等学校 デュアルシステム一

厚木市内の小学校で開催した金融教室

小学校でも金融教育（消費者教育）が開始され、中学校（社会科）では会計の概要が指導内容に加えられるなど、早い段階から金融リテラシーを身に付けることが求められています。

【問い】

- ① 1ヶ月のお金の使い方を考えよう
- ② お金を増やそうチャレンジ



出前授業の様子



ランチミーティング

【連携先】

- ・野村證券
→教材開発、創業支援の就業体験
- ・湘北短期大学（ソニー学園）
→FP講座

チーム名: _____ チームのメンバー: _____

① 1ヶ月のお金の使い方を考えよう！

こうもく	もらったお金 (+)
お給料	250000円
残り使えるお金は...	●250000円

何に使う???	はらったお金
やちん/家のローン	円
水道代金	円
ガス代	円
電気代	円
命のほけん	円
食費 (ごはん代)	円
	円
	円
	円
	円
合計★	円
②に使うお金◆	100000円

② お金を増やそうチャレンジ!!!

①から、あと、◆100000円が使える！
それを、どうする？

ためる (預金) ☐

サイコロをふって出た目が・・・
1,2,3 だったら 4,5,6 だったら
銀行にあずける ☐ ちょんばこに入れる ☐

◆100000円使って 円になった
よって 円 → (増えた・変わらない)

ふやす (運用) ☐

サイコロをふって出た目が・・・
出た目の数字に○をしよう

株を売買
+5万円 -1万円 -5万円
組み合わせて
売買 +2万円 +2万円 +2万円
◆100000円使って 円になった
よって 円 → (増えた・減った)



「ためる」「ふやす」を
サイコロで決定

○ 愛知県(教育委員会・校長会研究会) ―ビジネス探究プログラム―

ビジネス探究プログラム

ケースメソッドやPBLを柱とした基本的なカリキュラムを令和5年度からの3年間で県立全全日制商業科設置校15校に導入する(名古屋商科大学ビジネススクールと連携)。

ビジネス探究Ⅰの概要

- ・愛知県立半田商業高等学校(愛知商研・公開授業)
- ・科目「ビジネス基礎」
- ・単元「小売業」

ケースメソッド①

無店舗販売(自販機)の冷凍食品の販売が普及した時代背景と新たなサービスを思考する

ケースメソッド②

ペットボトル緑茶の普及を背景に、老舗のお茶屋はどのような販売戦略をとるか思考する

ビジネス基礎

配置されている商業科目

課題研究

ビジネス探究Ⅰ(1年次)
学びの土台をつくる**ビジネスの基礎知識**

企業経営の事例を題材にビジネスの基礎知識を身につける。

ケースメソッドの実施

10月29日(火)に半田商業高校で公開授業がありました

**ビジネス探究Ⅱ(2年次)**
学びの型を獲得する**起業家マインド、起業に関するノウハウ**

企業を擬似的に体験する課題解決型学習を通して、ビジネスのアイデアを生み出す力を身につける。

ケースメソッド、PBLの実施**ビジネス探究Ⅲ(3年次)**
学びをキャリアに活かす**ビジネスプラン、ビジネスプランコンテスト**

ビジネスのアイデアを具体的な企画や事業プランにしていける学習に取り組み、ビジネスの実践力を身につける。

PBLの実施

だから商業高校HP

(引用) 愛知県教委資料・名古屋商科大学ウェブページ

○ 鹿児島市立鹿児島商業高等学校 ―ビジネス情報分野の研究―

課題研究を2, 3年生に4単位ずつ配置し、実践的な学びを促進

POINT

DXハイスクールなどの取組をカリキュラムに落とし込む

情報イノベーション科は商業科目以外に情報Ⅰ・Ⅱを履修

情報セキュリティ、ドローンの活用、AI学習への取組

ビジネスクリエイイト科(コースの一部)

<観光ビジネスコース>

観光資源の調査研究、観光プランの研究開発 など

<企業戦略コース>

企業と連携し課題解決学習、CM動画作成、情報戦略 など

<グローバル・クリエイイトコース>

英語・韓国語・中国語やグローバル経済についての学習

<ビジネスにおけるSDGs探究コース>

業務や商品開発等におけるSDGs推進の探究学習

<ショップ店員体験コース>

企業と連携し就業体験を多く取り入れ、ビジネスマナーやコミュニケーション能力を育成

情報イノベーション科(コースの一部)

<メディア戦略コース>

SNSマーケティング・分析調査、動画制作 など

<メタバース・AIチャレンジコース>

AIプログラム制作、AI活用コンテストへのエントリー、ChatGPT活用、マーケティング など

<映像コンテンツデザインコース>

映像、アニメ、映画、サウンド、CMのコンテンツ制作 など

<eスポーツ・ゲームプログラミングコース>

ゲームプログラミングの基礎、オリジナルゲーム制作 など

(引用) 九州地区商業教育研究大会発表資料

○ エコマースの取組、イベント参加

福井県立坂井高等学校

概要

坂井高校ビジネスコースの生徒がネットショップ「坂井高校SHOP」を開設し、お菓子の詰め合わせ「よつばのおくりもの」の予約販売を実施

背景と目的

文科省のマイスター・ハイスクール事業の一環として、ビジネススキルの育成と地域産業の支援を目指す教育プロジェクトとして取り組んだ

商品情報

「よつばのおくりもの」は、安納芋を使った芋入りどら焼きやマドレーヌなど5種類のお菓子を詰め合わせた商品で、地元メーカーと共同で製造



(出典) 坂井高校SHOP <https://sakaihs.base.shop/>

山形市立商業高等学校

概要

山形市立商業高校は、新日本製パンと共同開発したお菓子を山形市の「メルカリShops」で販売

背景と目的

「メルカリShops PBLプログラム」を活用し、生徒のビジネススキル育成と地域産業の理解を目指す

商品情報

ブルドネージュ、ラスク、かりんとう

販売開始発表会

生徒たちは開発の成果を市内関係者やメディアにプレゼンし商品販売



(出典) Merpoliメルカリグループの政策企画ブログ
<https://merpoli.mercari.com/entry/2023/11/09>

兵庫県立姫路商業高等学校

概要

宮城県農業高等学校と協力し、大震災の経験をもとに「防災食」を開発

背景と目的

能登半島地震の支援活動で、ふわ姫パンを持参し現地で災害ボランティアを実施

商品情報

ふわ姫パン

販売開始発表会

本選で「手話」を使ったプレゼンを実施



(出典) 商業高校フードグランプリ公式ホームページ
<https://foodgrandprix.com/>

令和6年度教育課程実践検証協力校事業 千葉県立銚子商業高等学校

商業科(全・定)

情報処理科

海洋科(水産科)



学校HP

訪問日:令和6年9月10日(火) 対応者:宮内 輝久 校長

学校概要

本校は、地元企業や地域社会との連携を重視しており、銚子電鉄と始まった地域活性化をテーマとしたプロジェクトの中で、「ぬれせんべいアイス」の商品開発や、クラウドファンディングで故障車両の修理費用を調達した。また、千葉県に本社をもつ山崎製パンと共同し、ランチパックを開発。銚子商夢市場プロジェクトを開催するなど、商品開発や販売実習も行い、ビジネススキルやマーケティングを学ぶ場をつくることで、探究心や起業家精神の育成、人材育成に力を入れている。

地域を愛し、地域に愛され、地域に必要とされる学校

高等学校等デジタル人材育成支援事業

- デジタル人材の育成の一環として、ドローンを活用した観光プロモーションビデオの撮影や編集を取り入れることを検討している。例えば、銚子沖の洋上風力発電をドローンで空撮し、観光のシンボルとして利用することを検討している。
- 11月の文化祭に向けて、イベントのデジタルトランスフォーメーション(DX)化を進めるために、キャッシュレス決済「PayPay」を導入し、販売促進や顧客分析に活用することを検討している。

令和6年度課題研究型キャリアゼミ

- 日本では多くの自然災害が発生しており、避難生活を余儀なくされる方が多くいる。避難生活における課題は、食糧不足や栄養不足などであり、これに対処するため、銚子商業をはじめ、県立高校3校が連携し、オリジナルの非常食を開発する。

県立銚子高校

「防災の学び」の一環として、災害時について調査・研究を行う。

県立旭農業高校

県立旭農業高校の生産物を活用した商品企画。

県立銚子商業高校

パッケージデザインや地元企業と連携し、製品化に向けた取り組みを進める。

地域と連携した生徒の活動

- 千葉県誕生150周年記念事業の一環として、県が協力企業を募集。ヤマザキ製パンと商業高校が共同で商品開発を行った。生徒たちは、市川市のクリエイションセンター(研究、研修施設)に通い、ヤマザキ製パンの担当者から、ビジネスのノウハウを学び、実践的なマーケティングや販売促進の指導を受けた。
- 自転車競技で活躍した生徒が、アスリートの目線で健康食品を開発。『THE PROTEIN SABA水煮』は信田缶詰と武内製菓の協力を得て開発した商品である。この商品を、東京都・新橋にある缶詰専門店『カンダフル』で販売実習を行った。



信田缶詰・武内製菓との連携
「THE PROTEIN SABA水煮」



「ランチパック販売会」於:イオン東金、イオン銚子、ペリエ千葉

対話的な活動を重視した授業

- 科目「ビジネス・マネジメント」 単元「人的資源のマネジメント」
- 授業者 羽石 有沙 教諭
- キーワード リーダーシップ モチベーション 内発・外発的動機づけ など
- 問い(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)
「自分が評価される側なら、努力と成果、どちらを評価してほしいか。
(グループワーク)」
・生徒A「努力。その成果を出す過程(努力)を評価してほしい。」
・生徒B「成果。努力は形やデータとして客観的に見ることができない。」
- 振り返り(主体的に学習に取り組む態度)
「主に成果に対して報酬が支払われる職種・業種は何か。またなぜその職種・業種では成果に対して報酬が決められているのか。(個人研究)」



ビジネス・マネジメントの授業の様子



スクールキャラクター
「ショウちゃん」

令和6年度教育課程実践検証協力校事業 千葉県立東金商業高等学校

商業科
情報処理科

訪問日:令和6年9月18日(水) 対応者:片岡 和晃 校長



学校HP



東商online

学校概要

本校は、地域との連携を重視した実践的な商業教育を提供しています。「課題研究」では、「観光ビジネス」をテーマに地元山武市の魅力をPRするため、生徒がバスツアーを企画・運営し、インバウンド効果を研究しました。また、「とうしょうキッズモール」では、小学生が文化祭で就業体験を行い、専用通貨での買い物を通じて職業選択や消費の仕組みを学びました。生徒たちは体験学習のサポートを通じて指導力やビジネススキルを身に付け、地域に貢献しています。

夢をカタチに～東商ブランド～

ATTENTION PLEASE ～こちら山武市です～

市町村別の魅力度ランキングが低い山武市の現状と課題を分析。高校生がアイデアを出し合い九十九里鐵道株式会社や城西国際大学と連携し、山武市の「食」の歴史を学ぶ、高大連携型企画旅行を実施した。

【バスツアーの内容】

- 大高醤油株式会社
工場見学、土産の醤油配付
- よもぎ館
太巻き寿司作り体験、山武杉のマイ箸作り体験
- 守屋酒造株式会社
酒蔵見学、マイラベル貼り体験
- 伊藤左千夫の生家
伝承遊び体験、ゆるキャラと記念撮影



地域と協働したビジネスの探究

高校生によるオンライン番組「夢をカタチに東商online」

地域のインターネットメディア局と連携し、高校生が番組をもち、東金市の魅力を発信した。

【番組の一部】

- ・東商生の主張
- ・東金市の魅力発見
- ・商業の学びとは徹底解説
- ・東商NEWS
- ・商業部活動紹介

※上部のQRコードでアクセス可



Choose my life ～Eco 東商プロジェクト～

海洋汚染問題で各種飲食業界で一般的になった紙ストロー。東金市と連携し、持続可能な社会を実現するビジネスモデルを探究。SNSを分析して、東金市のイメージである桜とぶどうを採用した紙ストローをデザイン。市内飲食店で使用してもらうことで、環境に配慮した東金市をPRした。



指導と評価の一体化に向けた学習活動

○科目「ビジネス基礎」

○単元「経済の仕組みとビジネス」

○授業者 石橋 和人 教諭

- ・内容 ①「土地」「資本」「労働力」の生産要素
- ②生産要素の希少性
- ③調べ学習

- ・限定販売が高値で取引されるのはなぜ？
- ・普通の生活でのトレード・オフは何？

・工夫 ①「問い」の工夫

『街中で1本160円で買える飲料水が200円以上で売られていることがある。どのような場合か、なぜ高い価格でも売れるのか話し合おう』

②「主体的に学習に取り組む態度」の見取り

- ・ICTのメモ作成と、メモからのノートづくり
- ・振り返りシートの作成、週ごとの提出

○科目「ネットワーク管理」

○単元「情報セキュリティ管理の目的と重要性」

○授業者 藤井 裕久 教諭、山崎 竜弥 教諭

・単元 ①情報セキュリティとは … 1時間

計画 ②情報資産に対する脅威とリスク … 4時間

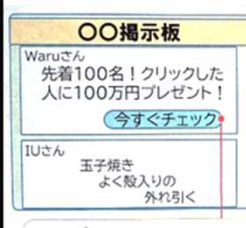
③情報セキュリティに関する法規 … 0.5時間

④情報管理の組織的対応 … 0.5時間

・本時 ポスターセッション

「情報資産に対する脅威とリスク」

【ポスターの例】
クロスサイトスクリプティングの仕組みや、実際にYouTubeやTwitter(X)であった有害サイトへ誘導する手段の説明と、その対応策のまとめ



令和6年度教育課程実践検証協力校事業
愛媛県立松山商業高等学校

商業科(全・定)	流通経済科
地域ビジネス科	情報ビジネス科



学校HP



松商日記

訪問日:令和6年9月13日(金) 対応者:田中 圭 校長

学校概要

本校は実践的な学習活動を重視しており、特に地域との連携を通じた教育活動が特徴。例えば、「1000日実習」では、地域企業や商店での体験を通じて、生徒たちは科目で学んだことを実践し、教科「商業」で育成を目指す資質・能力を高めている。また、「松山学」では、地元の観光や文化に関する学びを深め、地域貢献や愛郷心を育む教育が行われるとともに、松山市の魅力を伝えるツアープランニングや、コンシェルジュなどの学びが進路実現に大きな影響を与えている。

士魂商才～地域社会に根ざした商業教育の推進～

学校設定科目「松山学Ⅰ～Ⅲ」の概要

地域ビジネス科で開設している学校設定科目「松山学」を軸として、カリキュラム・マネジメントと実践的・体験的な学習活動を展開している。松山商業高校では独自のテキストを作成し、学習活動を展開している。

□ 学習の柱

- ・ふるさとふれあい塾、現地フィールドワーク
- ・ツアープランニングプログラム
- ・卒業プログラム

□ 松山学の事例

- ・ノベルティ商品の考案、松山アンバサダーの活動
- ・地域の観光スポットの創造、市長の都市構想説明
- ・お城下マルシェの出店、ビジスタコンテスト



お城下マルシェの出店



ツアープランニングプログラム

地域資源を活用した授業

- 科目「松山学Ⅱ」※学校設定科目
- 単元「ツアープランにおけるマーケティング」
- 授業者 青野 純士 教諭
- ・導入 1000日実習先で学習を紹介(生徒発表)
- ・展開 ①俳句を通じて学んだことを復習
(国語科との教科等横断的な取組)
- ②詠んだ俳句を、セグメント(男女)別に解析
(マーケティングに向けた環境分析に活用)
- ③ツアープランに向けたSWOT分析
(STPを意識して情報収集を実施)



松山学の授業の様子



俳句の留意点の確認



1000日実習は、
2、3年生が3人
一組で企業など
に訪問するけん。



松山学のテキスト

目標を生徒と共有した授業実践

- 科目「ネットワーク活用」
- 単元「電子商取引とビジネス」
- 授業者 岩崎 直 教諭
- ・内容 ①EC市場の分析
②ECの課題
③ECの契約成立
④特定商取引法
⑤EC企業の経営分析
- ・工夫 ①Amazonの経営成績の確認
(市場規模が年々拡大)
- ②楽天の事業別売上を考察



- 科目「ビジネス・マネジメント」
- 単元「組織内部のマネジメント」
- 授業者 森貞 秀美 教諭
- ・内容 ①モチベーションとは何か
②クラウドニング・アウト効果
③松商デパートのストア
コンセプト
- ・工夫 ①ICT端末を活用したグル
ープワーク
- ②班ごとのマンガラートを
合体、組織の目標設定



- 科目「商品開発と流通」
- 単元「商品の企画」
- 授業者 東方 楓 教諭
- ・内容 ①商品コンセプトの確認
(ターゲット、ベネフィ
ット、シーン)
- ②商品企画書の確認
- ③企画案のグループ発表
- ④他グループ発表を評価
- ・工夫 ①授業者のファシリテー
ション
- ②多面的な学習評価



授業のまとめでは本時の目標と授業の内容を振り返り、生徒が自己評価を行う

令和6年度教育課程実践検証協力校事業 埼玉県立狭山経済高等学校

流通経済科

会計科

情報処理科



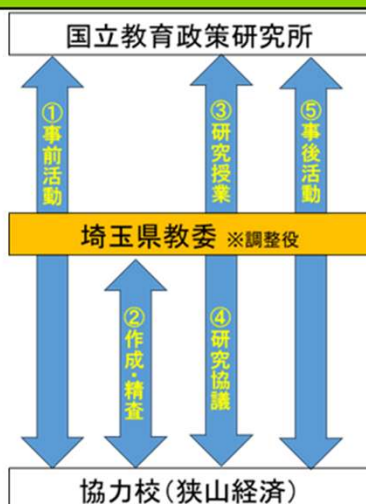
学校HP

訪問日: 令和6年11月5日(火) 対応者: 川窪 慶彦 校長

事業概要

この事業は、教育課程をより良くするために必要な情報を集め、それを客観的に検証することを目的としている。狭山経済高校では、簿記、プログラミング、マーケティングの授業に加え、英語教育にも力を入れることで、実務的な商業教育を進めている。今回の研究授業や研究協議は、生徒が主体的に学び、対話を通じて深く学ぶ学習環境を整えるため、県教委の支援を受け実施した。

授業改善に向けた取組




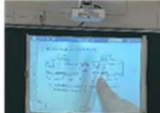


- ①事前活動(指導案・指導計画の検討)
研究授業の構想に向けて商業科で育成を目指す資質・能力を育むための単元の指導計画や授業実践を確認
- ②作成・精査
協力校は指導案又は単元の指導計画を作成するとともに、指導主事は精査を行い、協力校へ助言
- ③研究授業
①②に基づき、授業を実施
- ④研究協議
協力校が抱える課題について、協議テーマを設定し、先生方が意見交換
・テーマ1「研究授業の客観的な評価について」
・テーマ2「授業改善の展望について」
- ⑤事後活動
研究授業の報告書の作成



Zoomを利用した指導案・指導計画の検討

●参加者の心構え
先生の指導に着目するより、生徒の思考の変容に着目する。

研究授業と研究協議の様子

	「マーケティング」1年・流経科(近藤先生) ＜単元：価格政策＞	「簿記」1年・流経科(堀江先生) ＜単元：決算整理＞
展開	・現金以外の新しい決済方法 ・キャッシュレス決済の利点と欠点	・固定資産は1年を超えて使用する資産 ・減価償却費を定額法で計算
問い	「日本と海外のキャッシュレス普及率の違いを比較し、キャッシュレスの現状と課題を企業・消費者の目線でまとめてみよう」	「固定資産(備品)を購入時ではなく決算時に毎期『減価償却費』として費用計上する意味や目的について考えてみよう」
回答	・利用できる店舗が近くに少ないな…(生徒A) ・使いすぎやセキュリティの面で心配(生徒B)	・中古売却の時、元値がわからない(生徒C) ・企業の業績を計算できないかも…(生徒D)
研究協議	 ・ICTを活用して、全員の意見をまとめてもよい ・公民科や家庭科との学びの重複があるので、教科等横断的な取組も考えられる ・答えのない課題を評価することは難しい	 ・検定取得と協働的な学びの両立は難しいが、生徒に考えさせる授業は大切だと感じた ・スマホは経年で価値が下がるなど、身近なことを題材に減価償却の概念を理解させては
中級S助言	 ICTの活用 教科等横断的な取組 ・キャッシュレスが価格政策に与える影響(ポイントの付加など)を考えさせてもよいです ・端末導入の費用など、企業側のデメリットを生徒の意見から引き出してもよいです	 検定取得 身近な題材 ・固定資産の種類を教えるより、価値が減るものは具体的に何かを示してはいかでしょうか(本時は知識の概念の定着に焦点を絞る) ・生徒同士が教え合う場面をつくりましょう

【全体講評】

他の教科の先生たちとも一緒に話し合いをすることで、いろいろな視点から情報を共有できました。これからもこうした機会をつくり、先生たちが協力して、協働的な学びの実践を積み重ねていけるようにしてください。

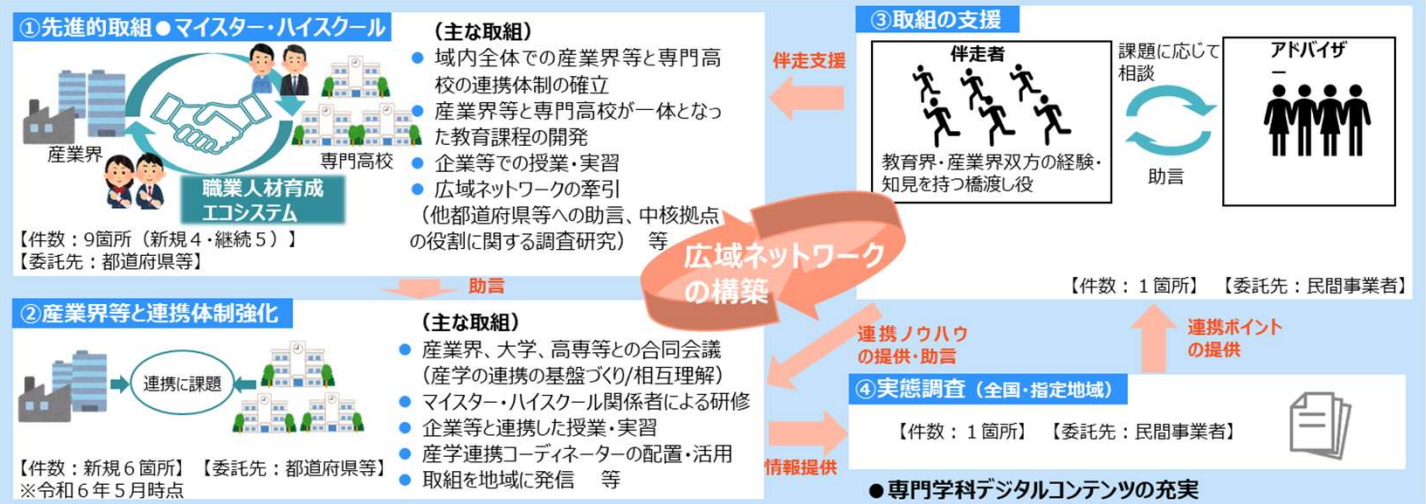
現状・課題

- 第4次産業革命の進展、デジタルトランスフォーメーション（DX）、六次産業化等、産業構造・仕事の内容が急速かつ絶えず革新する中、専門高校では、**産業構造の絶え間ない変化に即応した職業人材育成が急務**。
- そのため、令和3年度より、産業界等と専門高校が一体となって職業人材育成を行うマイスター・ハイスクールを実施。
- 我が国の産業の発展のためには、**マイスター・ハイスクールの全国的な横展開が必須**。しかし、産業界等との連携に課題のある地域では導入が困難であることから、実践的な取組を通じた研究や全国実態調査等を通じて、連携体制の強化の方策について明らかにする必要。

事業内容

- ① 産業界等と一体となった教育課程開発などの先進的取組を行う都道府県等・専門高校が中核となり、産業界等と連携した人材育成の**広域ネットワークを牽引**
- ② 産業界等との**連携に課題のある地域が**、先進的取組を直接学びつつ、**連携体制の強化プロセスを実践研究**
- ③ 民間事業者による**取組に応じた支援、広域ネットワーク内をつなぐネットワークハブ**
- ④ 産業界等と専門高校の**連携段階ごとの課題及びその解決策**について調査し、実効性のある連携体制構築のポイントを整理

地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の職業人材育成エコシステムを確立



深 広

① 先進的取組（産業分野）

- ・北海道（農、工、**商**、水）6次産業 半導体 観光・デジタル技術 セロカーボン
- ・新潟県（水、農）株式会社能水商店 糸魚川信用組合 他
- ・福井県（域内の**全専門高校**）商工会議所連合会、商工会連合会 他
- ・熊本県（工、農、**商**、福）情報サービス産業協会、工業連合会 他



連携分野の広がり 連携体制の深まり



1 先進的取組型



2 連携体制強化型

② 産業界等と連携体制強化

- ・宮城県（農、工、自動車）
- ・山形県（農、工、**商**、水、家、看、情）
- ・静岡県（次世代自動車）
- ・愛知県（福祉、介護分野）
- ・三重県（福祉）
- ・兵庫県（蓄電池分野）
- ・長崎県（農、工、**商**、情、水、福）
- ・宮崎県（農）

低（学校周辺）

広域性

（県内全域）高

令和
6年度

マイスター・ハイスクール事業及び マイスター・ハイスクール普及促進事業 成果発表会

1/31 金 10:00~14:10



開催趣旨

産業界と専門高校(工業高校、農業高校、水産高校等)が一体となった次世代の産業人材育成の先進的取組の成果について、発信します。

マイスター・ハイスクール事業とは

第一線で活躍する企業人・技術者・研究者等の民間人材が学校に入り、産業界と連携した教育活動やカリキュラム開発等を実施することで、産学連携で人材育成を行うモデル事業(令和3年度より文部科学省委託事業として実施)



開催の流れ

- 10:00~10:05 : 開会挨拶
- 10:05~10:25 : 基調講演
- 10:40~11:55 : 成果発表(前半)
- 11:55~12:55 : 休憩
- 12:55~14:10 : 成果発表(後半)

基調講演

「今後の専門高校に求められる人材育成について」

- ・ 今後、日本において「ものづくり」「農業・水産」「医療や介護現場」等を革新していく人材が強く求められていく。
- ・ 今後の専門高校に求められる人材育成とは。

ベジタリア株式会社
代表取締役社長
小池 聡 氏



ISI電通アメリカ取締役副社長 COO 等を経て、シリコンバレーを中心にベンチャーキャピタリストとして活動したのち、東京大学EMP発ベンチャーとしてベジタリア株式会社を設立。農業経営とスマート農業、地方創生プロジェクトを実践しているベジタリア株式会社代表取締役社長小池聡氏よりお話しいただきます。

成果発表プログラム

着色の3校は最終成果発表

	A	B	C	D	E
前半	① 10:40~11:15 福井県	熊本県教育委員会・熊本県商工労働部	北海道教育委員会	新潟県教育委員会(水産・農業)	埼玉県立大宮工業高等学校(工業)
	② 11:20~11:55 学校法人一川学園 清和学園高等学校(工業・家庭)	長崎県教育委員会	山形県教育委員会	宮城県教育委員会(農業)	三重県教育委員会(福祉)
後半	③ 12:55~13:30 仙台市立仙台工業高等学校(工業)	宮崎県教育委員会(農業)	兵庫県教育委員会(工業)	北海道厚岸翔洋高等学校(水産)	愛知県(福祉)
	④ 13:35~14:10 —	静岡県(工業)	—	静岡県立浜松城北工業高等学校(工業)	—

主な対象者

- 各都道府県・指定都市教育委員会等担当者
- 学校法人等ご担当者
- 高等学校関係者
- 産業振興・産業人材育成に係る各都道府県担当者

登録方法

下記アドレスまたはQRコードにアクセスし、登録ください。
<https://forms.office.com/r/6wewrvdstt>
 ※申込期日は令和7年1月24日(金)



初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について (令和6年12月25日中央教育審議会諮問)【概要】

子供たちを取り巻くこれからの社会の状況

- 不確実性の高まり（少子化・高齢化、グローバル情勢の混迷、生成AI等デジタル技術の発展等）
→子供たちは、激しい変化が止まることがない時代を生きる
- 労働市場の流動性の高まり、マルチステージの人生モデルへの転換
→自らの人生を舵取りする力を身に付けることの重要性
- 内なるグローバル化やデジタル化の負の側面等による社会の分断の芽への指摘
→多様な他者と、当事者意識を持った対話により問題を発見・解決できる「持続可能な社会の創り手」を育てる必要性
- テクノロジーは変化に伴う困難だけでなく多様な個人の思いを具現化するチャンスも生み出す
→生産年齢人口が急減する中、あらゆる資源を総動員し、全ての子供が豊かな可能性を開花できるようにすることが不可欠

現在の学校現場の状況

- 現行学習指導要領は、「社会に開かれた教育課程」を理念に掲げ、「何を学ぶか」だけでなく、「何ができるようになるか」を明確化し、「どのように学ぶか」の重要性を強調し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を提示
- コロナによる制約に苦しみながらも、GIGAスクール構想による1人1台端末環境も活用し、精力的な授業改善が行われてきた
- 全国学力・学習状況調査やOECDのPISA調査において地域間格差・学力格差の改善も見られている
→我が国の初等中等教育は、質の高い教師の努力と熱意に支えられ、大きな成果を上げ続けている

顕在化している課題

①主体的に学びに向かうことができていない子供の存在

- ・ 学ぶ意義を十分に見いだせず、主体的に学びに向かうことができていない子供の増加
- ・ 不登校児童生徒、特別支援教育の対象となる児童生徒や外国人児童生徒、特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の充実とともに、多様性を包摂し、可能性を開花させる教育の実現が喫緊の課題
- ・ これらに向き合うことは、「正解主義」や「同調圧力」への偏りから脱却するとともに、民主的かつ公正な社会の基盤として学校を機能させ、分断や格差の拡大を防ぎ、共生社会を実現する観点からも重要

②学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

- ・ 習得した知識を現実の事象と関連付けて理解すること、概念としての知識の習得や深い意味理解をすること、自分の考えを持ち、根拠を持って明確に説明すること、自律的に学ぶ自信がある生徒が少ないこと、等に依然として課題
- ・ 子供の社会参画の意識、将来の夢を持つ子供の割合等についても、改善傾向も見られるものの国際的に見て低い状況

③デジタル学習基盤の効果的な活用

- ・ デジタル学習基盤(※)は、一人一人のよさを伸ばし、困難の克服を助ける大きな可能性を秘めているが、効果的な活用は緒に就いたばかり
- ・ 我が国のデジタル競争力は国際比較でも低位であり、デジタル人材育成強化は喫緊の課題
- ・ 「デジタルの力でリアルな学びを支える」との基本的な考えに立ち、バランス感覚を持って、積極的に取り組む必要

(※) GIGA スクール構想による1人1台端末やクラウド環境等のデジタル学習基盤

○子供たちが社会で活躍する2040年代を展望するとき、初等中等教育が果たすべき役割はこれまで以上に大きい

→これまでのよい部分を継承し、課題を乗り越え、高等教育との接続改善や国際的な潮流にも配慮しながら、新たな時代にふさわしい在り方を構築する必要

○教師の努力と熱意に対して過度な依存はできず、教育課程の実施に伴う負担への指摘に真摯に向き合う必要性

→令和6年8月の中央教育審議会答申に基づく教員の勤務環境整備と整合させつつ、「令和の日本型学校教育」を持続可能な形で継承・発展

※別途諮問している「多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成を加速するための方策について」に係る検討と連携

主な審議事項

1 質の高い、深い学びを実現し、分かりやすく使いやすい学習指導要領の在り方

- 生成AIが発展する状況の下、知識の概念としての習得や深い意味理解を促し、学ぶ意味や社会とのつながりが重要となる中、そうした授業改善に直結する学習指導要領とするための方策（特に、各教科等の中核的な概念等を中心に、目標・内容を一層構造化）
- 目標・内容の記載に表形式等を活用すること、学校種間・教科等間の関係を俯瞰しやすくなることほか、デジタル技術を活用した工夫の在り方
- 重要な理念の関係性の整理（「主体的・対話的で深い学び」、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」、「学習の基盤となる資質・能力」等）
- デジタル学習基盤の活用を前提とした、資質・能力をよりよく育成するための各教科等の示し方
- 学習改善・授業改善に効果的な評価の観点や頻度、形成的・総括的評価の在り方（特に、「主体的に学習に取り組む態度」をはじめ観点別学習状況の把握をより豊かな評価につなげるための改善）

3 各教科等やその目標・内容の在り方

- 小中高等学校を通じた情報活用能力の抜本的向上を図る方策（生成AI等に関わる教育内容の充実、情報モラルやメディアリテラシーの育成強化を含む）
- 質の高い探究的な学びを実現するための「総合的な学習の時間」、「総合的な探究の時間」の改善の在り方（情報活用能力の育成との一体的な充実等を含む）
- 高等教育段階でデジタル・理数分野への学部転換等の取組が進む中で、初等中等教育段階における文理横断・文理融合の観点からの改善の在り方
- 生成AIの活用を含めた今後の外国語教育の在り方や、手軽に質の高い翻訳も可能となる中での外国語を学ぶ意義についての考え方
- 教育基本法、学校教育法等に加え、こども基本法の趣旨も踏まえた主体的に社会参画するための教育の改善の在り方
- 多くの教科・科目の構成の改善が行われた高等学校教育について、その一層の定着を図るとともに、職業教育を含めた今後の改善の在り方
- 特別支援学級や通級指導に係る特別の教育課程、自立活動の充実等を含む、障害のある子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育の在り方
- 幼児教育と小学校教育との円滑な接続の改善の在り方、設置者や施設類型を問わず、幼児教育の質の向上を図る共通の方策

2 多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方

- 興味・関心や能力・特性に応じて子供が学びを自己調整し、教材や方法を選択できる学習環境デザインの重要性、デジタル学習基盤を前提とした新たな時代にふさわしい学びや教師の指導性の在り方
- 教師に「余白」を生み、教育の質の向上に資する可能性も含めた、子供たちの可能性が輝く柔軟な教育課程編成の促進の在り方（各種特別校制度等を活用しやすくすること、標準授業時数に係る柔軟性、学習内容の学年区分に係る弾力性、単位授業時間や年間の最低授業週数の示し方）
- 高等学校の生徒の多様性に応える柔軟な教育課程の実現のための、全日制・定時制・通信制を含めた諸制度の改善の在り方
- 不登校児童生徒や特定分野に特異な才能のある児童生徒など、各学校が編成する一つの教育課程では対応が難しい子供を包摂するシステムの構築に向けた教育課程上の特例等の在り方

4 教育課程の実施に伴う負担への指摘に真摯に向き合うことを含む、学習指導要領の趣旨の着実な実現のための方策

- 教育課程の実施に伴う過度な負担や負担感が生じにくい在り方（学習指導要領や解説、教科書、入学者選抜、教師用指導書を含む）
- 現在以上に増加させないことを前提とした年間の標準総授業時数の在り方、教育課程の実施に伴う負担に留意した上で、現代的な諸課題を踏まえた様々な教育の充実の在り方
- 新たな学びにふさわしい教科書の内容や分量、デジタル教科書の在り方
- 情報技術など変化の激しい分野において、教師の負担軽減を図りつつ最新の教育内容を扱うことを可能とするための方策
- 各学校での柔軟な教育課程編成を促進し、多様な取組の展開に資する、教育委員会への支援強化、指導主事等の資質・能力の向上の在り方
- コミュニティ・スクールを含む地域や家庭との連携・協働を促進しつつ、過度な負担を生じさせずにカリキュラム・マネジメントを実質化する方策
- 学習指導要領の趣旨・内容について、保護者をはじめ社会全体と共有するとともに、学校種を超えて一人一人の教師に浸透を促す方法の在り方